2026年11月16日

各　位

会 社 名　株式会社シー・エス・ランバー
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　中井　千代助
（コード番号：7808　東証スタンダード）
問合せ先　執行役員管理本部 部長　　上原　　隆
（TEL 043-213-8810）

（訂正・数値データ訂正）「2026年５月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2026年５月期決算説明会資料」の一部訂正について

当社は、2026年７月16日に公表しました「2026年５月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2026年５月期決算説明会資料」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データ（ＸＢＲＬ）にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信します。

株主及び投資家の皆様にはご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

記

１．訂正事由

「2026年５月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2026年５月期決算説明資料」の公表後、有価証券報告書の作成過程において、連結貸借対照表及びセグメント情報の記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明いたしましたので、当該事項を訂正するものであります。

なお、当該訂正は、流動資産の内訳と、セグメント情報のその他の項目（減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額）を訂正するものでありますが、資産合計、負債合計、純資産合計、連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書、並びにセグメント情報の売上高及びセグメント利益、セグメント資産への影響はありません。

また、決算説明会動画におきましては訂正前の数値を用いて説明を行っておりますが、動画につきましては配信済コンテンツであることから差し替えは行っておりません。

２．訂正箇所

「2026年５月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料

・３頁記載の「１．経営成績等の概況　（２）当期の財政状態の概況」の一部
・６頁記載の「３．連結財務諸表及び主な注記　（１）連結貸借対照表」の一部
・14頁記載の「３．連結財務諸表及び主な注記　（５）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の一部

「2026年５月期決算説明資料」

・12頁記載の「2026年５月期 貸借対照表」の一部

なお、訂正箇所には下線を付けて表示しております。

３．訂正内容

「2026年５月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料

・３頁記載の「１．経営成績等の概況 （２）当期の財政状態の概況」の一部

（訂正前）

② 負債

（省略）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ55百万円(0.7%)増加し、7,993百万円となりました。これは主に、短期借入金が295百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が201百万円、電子記録債務が166百万円増加したこと等によるものであります。

（省略）

（訂正後）

② 負債

（省略）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ55百万円(0.7%)増加し、7,993百万円となりました。これは主に、短期借入金が295百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が84百万円、電子記録債務が166百万円増加したこと等によるものであります。

（省略）

・６頁記載の「３．連結財務諸表及び主な注記　（１）連結貸借対照表」の一部

（訂正前）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年５月31日）	当連結会計年度 （2026年５月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,928,908	**2,130,501**
電子記録債務	1,717,648	1,883,950
短期借入金	2,200,000	1,905,000
１年内償還予定の社債	230,000	190,000
１年内返済予定の長期借入金	554,558	769,237
リース債務	74,208	87,469
未払金	468,432	**334,105**
未払費用	302,871	308,505
未払法人税等	202,869	123,236
賞与引当金	－	2,400
その他	257,896	258,694
流動負債合計	7,937,394	7,993,101

（訂正後）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年５月31日）	当連結会計年度 （2026年５月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,928,908	**2,013,419**
電子記録債務	1,717,648	1,883,950
短期借入金	2,200,000	1,905,000
１年内償還予定の社債	230,000	190,000
１年内返済予定の長期借入金	554,558	769,237
リース債務	74,208	87,469
未払金	468,432	**451,188**
未払費用	302,871	308,505
未払法人税等	202,869	123,236
賞与引当金	－	2,400
その他	257,896	258,694
流動負債合計	7,937,394	7,993,101

・14頁記載の「３．連結財務諸表及び主な注記　（５）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の一部

（訂正前）

（セグメント情報等）

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自　2025年６月１日　至　2026年５月31日)

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	連結財務諸表計上額（注）３
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
その他の項目								
減価償却費	**203,477**	10,393	336,986	**550,858**	－	**550,858**	－	**550,858**
のれんの償却額	6,860	6,046	－	12,906	－	12,906	－	12,906
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	**378,456**	**90,696**	**3,735,723**	**4,204,876**	－	**4,204,876**	－	**4,204,876**

（訂正後）

（セグメント情報等）

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自　2025年６月１日　至　2026年５月31日)

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	連結財務諸表計上額（注）３
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
その他の項目								
減価償却費	**203,483**	10,393	336,986	**550,864**	－	**550,864**	－	**550,864**
のれんの償却額	6,860	6,046	－	12,906	－	12,906	－	12,906
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	**354,619**	**110,078**	**3,741,357**	**4,206,055**	－	**4,206,055**	－	**4,206,055**

「2026年５月期決算説明資料」
・12頁記載の「2026年５月期 貸借対照表」の一部

（訂正前）

単位：百万円	2025年５月期		2026年５月期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動負債	7,937	29.5%	**7,993**	**26.4%**	55	0.7%
支払手形及び買掛金	3,646	13.5%	**4,014**	**13.3%**	**367**	**10.1%**
短期借入金	2,200	8.2%	**1,905**	**6.3%**	△295	△13.4%
1年内償還予定の社債	230	0.9%	**190**	**0.6%**	△40	△17.4%
１年以内返済予定の長期借入金	554	2.1%	**769**	**2.5%**	214	38.7%
リース債務	74	0.3%	**87**	**0.3%**	13	17.9%
未払い法人税等	202	0.8%	**123**	**0.4%**	△79	△39.3%
その他	1,029	3.8%	**903**	**3.0%**	**△125**	**△12.2%**

（訂正後）

単位：百万円	2025年５月期		2026年５月期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動負債	7,937	29.5%	**7,993**	**26.4%**	55	0.7%
支払手形及び買掛金	3,646	13.5%	**3,897**	**12.9%**	**250**	**6.9%**
短期借入金	2,200	8.2%	**1,905**	**6.3%**	△295	△13.4%
1年内償還予定の社債	230	0.9%	**190**	**0.6%**	△40	△17.4%
１年以内返済予定の長期借入金	554	2.1%	**769**	**2.5%**	214	38.7%
リース債務	74	0.3%	**87**	**0.3%**	13	17.9%
未払い法人税等	202	0.8%	**123**	**0.4%**	△79	△39.3%
その他	1,029	3.8%	**1,020**	**3.4%**	**△8**	**△0.8%**

以　上

2026年５月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年７月16日

上 場 会 社 名　　株式会社シー・エス・ランバー　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7808　　URL　https://www.c-s-lumber.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 中井　千代助
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員管理本部 部長　(氏名) 上原　　隆　　(TEL) 043-213-8810

定時株主総会開催予定日　　2026年８月26日　　配当支払開始予定日　　2026年８月27日
有価証券報告書提出予定日　2026年８月27日
決算補足説明資料作成の有無　　：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　(　機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満切捨て)

１．2026年５月期の連結業績（2025年６月１日～2026年５月31日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年５月期	20,381	△1.4	1,134	△36.1	1,002	△40.4	693	△40.1
2025年５月期	20,673	△2.2	1,774	△18.4	1,680	△19.3	1,157	△19.3

(注) 包括利益　2026年５月期　742百万円(　△35.5%)　2025年５月期　1,149百万円(△20.5%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年５月期	374.69	―	6.0	3.5	5.6
2025年５月期	625.99	―	10.7	6.7	8.6

(参考) 持分法投資損益　2026年５月期　―百万円　2025年５月期　―百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年５月期	30,279	11,883	39.2	6,424.23
2025年５月期	26,938	11,289	41.9	6,103.07

(参考) 自己資本　2026年５月期　11,883百万円　2025年５月期　11,289百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年５月期	1,835	△4,610	1,940	2,475
2025年５月期	2,155	△5,547	1,585	3,311

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年５月期	―	0.00	―	80.00	80.00	147	12.8	1.4
2026年５月期	―	0.00	―	80.00	80.00	147	21.4	1.3
2027年５月期(予想)	―	0.00	―	80.00	80.00		―	

３．2027年５月期の連結業績予想（2026年６月１日～2027年５月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	10,500	4.0	745	28.3	635	23.3	455	18.7	245.98
通　期	21,000	3.0	1,490	31.4	1,270	26.7	910	31.3	491.95

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　1社　（社名）サンヨー建設株式会社　、除外　　1社　（社名）CSL CAD VIETNAM COMPANY LIMITED

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年５月期	1,850,100株	2025年５月期	1,850,100株
②　期末自己株式数	2026年５月期	329株	2025年５月期	329株
③　期中平均株式数	2026年５月期	1,849,771株	2025年５月期	1,849,771株

（参考）　個別業績の概要

１．2026年５月期の個別業績（2025年６月１日～2026年５月31日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年５月期	15,434	△2.7	694	△43.0	759	△40.4	616	△32.7
2025年５月期	15,854	△5.0	1,218	△24.1	1,274	△23.3	916	△21.7

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年５月期	333.34	―
2025年５月期	495.23	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年５月期	22,210	10,351	46.6	5,596.31
2025年５月期	21,508	9,833	45.7	5,315.90

（参考）自己資本　　2026年５月期　10,351百万円　　2025年５月期　9,833百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2026年７月29日（水）に開催予定の、機関投資家・アナリスト向け説明会の際に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
連結損益計算書 …… 7
連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 13
（継続企業の前提に関する注記） …… 13
（セグメント情報等） …… 13
（１株当たり情報） …… 15

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調を維持したものの、物価上昇による個人消費の押し下げや米国を中心とした通商政策を巡る不確実性、地政学リスクの高まりなどから、先行きは不透明な状況となりました。

当社グループが属する住宅関連業界におきましては、2025年４月施行の改正建築基準法（省エネ基準適合義務化等）に伴う駆け込み需要の反動減や、建築確認手続の長期化を背景に、新設住宅着工戸数が2025年６月から2026年５月までの累計では5.3%減となりました。当連結会計年度の後半にかけては、2025年10月や2026年４月に前年同月比で増加に転じる月もみられ、反動減の一巡に伴う持ち直しの動きもある一方で、建築資材・労務費等の高騰による住宅建築価格の上昇に、日銀の政策金利引き上げを受けた住宅ローン金利上昇懸念が重なり、住宅取得マインドは依然として力強さを欠いております。加えて、当連結会計年度末にかけては、中東情勢の緊迫化により原油・ナフサ価格が上昇し、塗料・断熱材・接着剤等の石油由来建材を中心に値上げや供給の制約が発生、それを受けた建築現場での工事遅延が散見されるなど、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、営業面では、2026年2月に在来営業本部と２×４営業本部を統合し、プレカットと建材・サイディングプレカットの総合的な営業力を強化すべく営業本部を新設したほか、引き続き徹底した歩留り追求、配送効率の向上に努めてまいりました。また、建築請負を新たな収益の柱として育成してまいりました。あわせて、収益基盤の安定化を図るため、複数の賃貸用不動産の取得を進めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は20,381百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は1,134百万円（同36.1%減）、経常利益は1,002百万円（同40.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は693百万円（同40.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プレカット事業

当セグメントにおきましては、新設住宅着工戸数の低迷が続くなか、限られた受注を同業他社と価格競争で取り合う構図が強まり、収益改善が難しい局面が続きました。このような環境下においても、大型非住宅物件の受注や坪数の確保に注力するとともに、資材提供に建て方工事を組み合わせた「材工一体」の取り組みを加速させ、売上の確保に努めてまいりました。サイディングプレカット事業については、次期以降の受注につながる営業活動を積極的に展開し、顧客開拓の布石を打ってまいりました。

プレカット事業の合計出荷棟数は、5,106棟（同6.9%減）、出荷坪数は、212千坪（同4.6%減）と前年同期を下回る結果となりました。部門別としましては、在来部門は出荷棟数3,815棟(同6.5%減)、出荷坪数134千坪(同5.0%減)、ツーバイフォー部門は出荷棟数1,291棟(同8.1%減)、出荷坪数77千坪(同3.8%減)となりました。

その結果、売上高は14,430百万円（同5.4%減）、セグメント利益は55百万円（同92.5%減）となりました。

② 建築請負事業

当セグメントにおきましては、組織体制強化のため、グループ全体での営業活動を行う組織変更を行い、大手取引先中心の提案・受注活動を推進してまいりました。業種・規模を問わず幅広く対応する営業スタイルへの転換が奏功し、当初より順調に大手取引先からの受注を獲得し、着工棟数は183棟、うち、大型木造施設は20棟となりました。また、完工棟数は前期着工済みを含め188棟、うち、大型木造施設は27棟となりました。

その結果、売上高は5,814百万円（同12.5%増）、セグメント利益は336百万円（同8.8%減）となりました。

③ 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、賃貸物件を新たに11物件取得し、保育所23物件、その他の賃貸施設43物件から安定した賃料収入を維持しております。

その結果、売上高は1,344百万円（同19.6%増）、セグメント利益は675百万円（同16.6%増）となりました。

④ その他事業

当セグメントには、不動産販売事業を区分しております。

不動産販売事業におきましては、土地９区画、木造注文住宅１戸、建売住宅１戸を販売いたしました。

その結果、売上高は207百万円（同42.0%減）、セグメント利益は6百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

①　資産

当連結会計年度末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3,340百万円(12.4%)増加し、30,279百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ336百万円(3.5%)減少し、9,233百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が100百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が434百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,677百万円(21.2%)増加し、21,045百万円となりました。これは主に、賃貸不動産（純額）が3,349百万円増加したこと等によるものであります。

②　負債

当連結会計年度末の負債の残高は、前連結会計年度末に比べて2,746百万円(17.6%)増加し、18,396百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ55百万円(0.7%)増加し、7,993百万円となりました。これは主に、短期借入金が295百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が84百万円、電子記録債務が166百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,691百万円(34.9%)増加し、10,403百万円となりました。これは主に、長期借入金が2,580百万円増加したこと等によるものであります。

③　純資産

当連結会計年度末の純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて594百万円(5.3%)増加し、11,883百万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益計上によって利益剰余金が545百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.2%（前連結会計年度末は41.9%）となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ836百万円(25.2%)減少し、2,475百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,835百万円（前年同期は2,155百万円の獲得）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額35百万円、法人税等の支払額386百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益975百万円、減価償却費569百万円、売上債権及び契約資産の減少額441百万円、仕入債務の増加額200百万円等の増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4,610百万円（前年同期は5,547百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出2,062百万円、不動産賃貸事業における賃貸施設の新規取得を中心とした固定資産の取得による支出3,743百万円等の減少要因があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は1,940百万円（前年同期は1,585百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出820百万円、長期借入金の返済による支出575百万円、社債の償還による支出235百万円、リース債務の返済による支出99百万円、及び配当金の支払額148百万円等の減少要因があったものの、短期借入れによる収入525百万円、長期借入れによる収入3,321百万円の増加要因があったことによるものであります。

（４）今後の見通し

当社グループは、「適正な価格による高品質商品の供給、的確な情報と真心のこもったサービスの提供により顧客の信頼を勝ち取ること」を経営理念とし「顧客に満足を戴ける取引に徹する」ことを社是としております。また、製材・加工から配送、建築業、不動産業までの一貫した価値提供が当社グループの強みでもあります。

将来的な新設住宅着工戸数減少が予想される厳しい環境下ではありますが、環境問題や労働力不足等の社会的課題・社会的ニーズに対し、サイディング（外壁材）プレカットの展開や、構造材等の資材提供に加え、建て方工事等も併せて提供すること（材工一体）で、環境への取り組みと顧客の生産性向上に資する新たな価値創造を目指してまいります。

2027年５月期の連結業績予想については、以下の通りとなります。

(ご参考)2027年５月期の連結業績予想

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第２四半期(累計)	10,500	4.0	745	28.3	635	23.3	455	18.7
通　期	21,000	3.0	1,490	31.4	1,270	26.7	910	31.3

(見通しに関する注意事項)

将来の見通し及び計画に基づく予測には不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しています。従って、実際の業績は現時点での当社の予想に対して大きく異なる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年５月31日)	当連結会計年度 (2026年５月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,045,070	5,054,462
受取手形、売掛金及び契約資産	3,275,594	2,841,000
商品及び製品	69,188	48,523
販売用不動産	330,292	241,301
仕掛品	261,513	328,131
原材料及び貯蔵品	481,394	581,637
その他	133,639	151,888
貸倒引当金	△27,079	△13,384
流動資産合計	9,569,614	9,233,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	540,149	481,415
機械装置及び運搬具（純額）	167,580	357,741
工具、器具及び備品（純額）	12,033	43,599
土地	1,441,033	1,443,305
建設仮勘定	18,447	74,148
賃貸不動産（純額）	14,248,501	17,598,138
有形固定資産合計	16,427,744	19,998,350
無形固定資産		
のれん	20,580	98,369
ソフトウエア	134,814	102,667
その他	42,256	41,312
無形固定資産合計	197,651	242,349
投資その他の資産		
投資有価証券	311,658	402,643
長期貸付金	2,640	1,880
破産更生債権等	14,955	72,549
繰延税金資産	128,649	130,871
長期預金	193,500	100,000
その他	106,983	169,742
貸倒引当金	△14,836	△72,431
投資その他の資産合計	743,549	805,255
固定資産合計	17,368,945	21,045,955
資産合計	26,938,559	30,279,517

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年５月31日)	当連結会計年度 (2026年５月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,928,908	2,013,419
電子記録債務	1,717,648	1,883,950
短期借入金	2,200,000	1,905,000
１年内償還予定の社債	230,000	190,000
１年内返済予定の長期借入金	554,558	769,237
リース債務	74,208	87,469
未払金	468,432	451,188
未払費用	302,871	308,505
未払法人税等	202,869	123,236
賞与引当金	―	2,400
その他	257,896	258,694
流動負債合計	7,937,394	7,993,101
固定負債		
社債	350,000	170,000
長期借入金	6,620,950	9,201,077
長期未払金	98,399	76,623
リース債務	135,261	369,076
完成工事補償引当金	49,011	43,269
役員退職慰労引当金	175,135	224,088
退職給付に係る負債	198,615	219,876
資産除去債務	4,694	4,691
その他	79,822	94,362
固定負債合計	7,711,891	10,403,066
負債合計	15,649,286	18,396,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	536,152	536,152
資本剰余金	321,597	321,597
利益剰余金	10,320,226	10,865,337
自己株式	△937	△937
株主資本合計	11,177,038	11,722,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,132	161,200
為替換算調整勘定	1,101	―
その他の包括利益累計額合計	112,234	161,200
純資産合計	11,289,272	11,883,349
負債純資産合計	26,938,559	30,279,517

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年６月１日 至 2025年５月31日）	当連結会計年度 （自 2025年６月１日 至 2026年５月31日）
売上高	20,673,104	20,381,927
売上原価	16,339,614	16,568,302
売上総利益	4,333,490	3,813,625
販売費及び一般管理費	2,558,833	2,679,471
営業利益	1,774,656	1,134,154
営業外収益		
受取利息	2,897	7,889
受取配当金	7,549	8,319
仕入割引	4,625	5,445
受取賃貸料	42,673	41,776
受取保険金	28,741	17,424
その他	16,344	19,918
営業外収益合計	102,832	100,774
営業外費用		
支払利息	83,929	140,227
賃貸費用	22,441	21,216
支払手数料	77,184	65,020
シンジケートローン手数料	2,984	3,416
その他	10,293	2,841
営業外費用合計	196,833	232,721
経常利益	1,680,656	1,002,206
特別利益		
固定資産売却益	3,897	3,880
特別利益合計	3,897	3,880
特別損失		
固定資産除却損	40	9,931
減損損失	－	12,300
子会社株式売却損	－	8,521
特別損失合計	40	30,753
税金等調整前当期純利益	1,684,512	975,334
法人税、住民税及び事業税	512,264	306,897
法人税等調整額	14,318	△24,655
法人税等合計	526,583	282,241
当期純利益	1,157,929	693,092
親会社株主に帰属する当期純利益	1,157,929	693,092

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年６月１日 至 2025年５月31日）	当連結会計年度 （自 2025年６月１日 至 2026年５月31日）
当期純利益	1,157,929	693,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,925	50,067
為替換算調整勘定	△4,389	△1,101
その他の包括利益合計	△8,314	48,966
包括利益	1,149,614	742,058
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	1,149,614	742,058

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2024年６月1日　至　2025年５月31日)

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	536,152	321,597	9,310,278	△937	10,167,090
当期変動額					
剰余金の配当			△147,981		△147,981
親会社株主に帰属する当期純利益			1,157,929		1,157,929
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	1,009,948	－	1,009,948
当期末残高	536,152	321,597	10,320,226	△937	11,177,038

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	115,057	5,491	120,549	10,287,639
当期変動額				
剰余金の配当				△147,981
親会社株主に帰属する当期純利益				1,157,929
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△3,925	△4,389	△8,314	△8,314
当期変動額合計	△3,925	△4,389	△8,314	1,001,633
当期末残高	111,132	1,101	112,234	11,289,272

当連結会計年度(自　2025年６月1日　至　2026年５月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	536,152	321,597	10,320,226	△937	11,177,038
当期変動額					
剰余金の配当			△147,981		△147,981
親会社株主に帰属する当期純利益			693,092		693,092
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	545,110	－	545,110
当期末残高	536,152	321,597	10,865,337	△937	11,722,149

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	111,132	1,101	112,234	11,289,272
当期変動額				
剰余金の配当				△147,981
親会社株主に帰属する当期純利益				693,092
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	50,067	△1,101	48,966	48,966
当期変動額合計	50,067	△1,101	48,966	594,076
当期末残高	161,200	－	161,200	11,883,349

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年６月１日 至 2025年５月31日）	当連結会計年度 （自 2025年６月１日 至 2026年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,684,512	975,334
減価償却費	420,188	569,885
減損損失	－	12,300
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△18,336	43,898
賞与引当金の増減額（△は減少）	－	900
完成工事補償引当金の増減額（△は減少）	△4,682	△5,742
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,258	8,952
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	6,747	21,261
受取利息及び受取配当金	△10,447	△16,208
支払利息	83,929	140,227
固定資産売却損益（△は益）	△3,897	△3,880
固定資産除却損	40	9,931
子会社株式売却損益（△は益）	－	8,521
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△196,186	441,109
棚卸資産の増減額（△は増加）	345,620	△35,556
仕入債務の増減額（△は減少）	361,413	200,059
未払消費税等の増減額（△は減少）	△22,086	△17,362
その他	129,749	△4,346
小計	2,781,823	2,349,286
利息及び配当金の受取額	9,414	11,416
利息の支払額	△85,267	△139,409
法人税等の支払額	△550,191	△386,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,155,778	1,835,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,829,455	△2,062,020
定期預金の払戻による収入	56,687	1,312,841
固定資産の取得による支出	△3,769,389	△3,743,606
固定資産の売却による収入	12,076	3,900
投資有価証券の取得による支出	△7,187	△17,199
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△88,720
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△3,582
貸付けによる支出	△4,350	△500
貸付金の回収による収入	2,899	3,096
その他	△8,852	△15,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,547,572	△4,610,869

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年６月１日 至 2025年５月31日）	当連結会計年度 （自 2025年６月１日 至 2026年５月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,030,000	525,000
短期借入金の返済による支出	△1,648,250	△820,000
長期借入れによる収入	3,332,500	3,321,668
長期借入金の返済による支出	△612,273	△575,588
社債の償還による支出	△280,000	△235,000
リース債務の返済による支出	△76,706	△99,555
長期未払金の返済による支出	△11,904	△27,747
配当金の支払額	△147,999	△148,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,585,367	1,940,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,389	△1,101
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,810,816	△836,147
現金及び現金同等物の期首残高	5,122,470	3,311,654
現金及び現金同等物の期末残高	3,311,654	2,475,506

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「プレカット事業」は、在来(木造軸組)工法及びツーバイフォー工法における木材のプレカット加工、並びにツーバイフォー工法におけるパネルの製造と、製品の販売を行っております。

「建築請負事業」は、木造戸建住宅及び木造一般建築物の建築の請負を行っております。

「不動産賃貸事業」は、主に事業用・居住用不動産の賃貸及び管理を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自　2024年６月１日　至　2025年５月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	連結財務諸表計上額(注)３
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,056,982	5,137,136	1,122,506	20,316,625	356,479	20,673,104	－	20,673,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,192,408	33,177	1,200	1,226,785	285	1,227,070	△1,227,070	－
計	15,249,390	5,170,313	1,123,706	21,543,410	356,764	21,900,174	△1,227,070	20,673,104
セグメント利益又は損失(△)	745,753	369,249	579,215	1,694,218	△1,739	1,692,479	82,177	1,774,656
セグメント資産	9,995,033	2,362,516	14,678,935	27,036,485	344,807	27,381,292	△442,733	26,938,559
その他の項目								
減価償却費	131,148	9,861	264,968	405,978	－	405,978	－	405,978
のれんの償却額	6,860	－	－	6,860	－	6,860	－	6,860
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	221,020	－	3,757,073	3,978,094	－	3,978,094	－	3,978,094

(注) １．「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおります。

２．「調整額」の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額82,177千円には、セグメント間の取引消去77,705千円、未実現利益の調整額4,483千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△442,733千円には、セグメント間の債権債務の相殺消去△388,164千円、未実現利益の調整額△54,013千円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自　2025年６月１日　至　2026年５月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	連結財務諸表計上額(注)３
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,242,906	5,588,842	1,343,086	20,174,835	207,092	20,381,927	－	20,381,927
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,187,394	225,914	1,200	1,414,508	－	1,414,508	△1,414,508	－
計	14,430,301	5,814,756	1,344,286	21,589,344	207,092	21,796,436	△1,414,508	20,381,927
セグメント利益	55,681	336,694	675,623	1,067,999	6,793	1,074,793	59,361	1,134,154
セグメント資産	9,898,618	2,832,970	18,088,967	30,820,556	249,657	31,070,213	△790,696	30,279,517
その他の項目								
減価償却費	203,483	10,393	336,986	550,864	－	550,864	－	550,864
のれんの償却額	6,860	6,046	－	12,906	－	12,906	－	12,906
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	354,619	110,078	3,741,357	4,206,055	－	4,206,055	－	4,206,055

(注) １．「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおります。

２．「調整額」の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額59,361千円には、セグメント間の取引消去72,486千円、未実現利益の調整額△15,947千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△790,696千円には、セグメント間の債権債務の相殺消去△728,025千円、未実現利益の調整額△64,008千円が含まれております。

３．セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2024年６月１日 至　2025年５月31日）	当連結会計年度 （自　2025年６月１日 至　2026年５月31日）
１株当たり純資産額	6,103円07銭	6,424円23銭
１株当たり当期純利益	625円99銭	374円69銭

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （自 2024年６月１日 至 2025年５月31日）	当連結会計年度 （自　2025年６月１日 至　2026年５月31日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,157,929	693,092
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,157,929	693,092
普通株式の期中平均株式数(株)	1,849,771	1,849,771

３．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年５月31日)	当連結会計年度 (2026年５月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,289,272	11,883,349
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	－	－
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	11,289,272	11,883,349
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,849,771	1,849,771

2026年5月期
決算説明会

株式会社シー・エス・ランバー

（東証スタンダード：7808）

2026年7月29日開催







※写真は保育園（東京都江戸川区中葛西）2026年4月開所

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

AGENDA

目次

01 当社の概要

02 2026年5月期 決算概要

03 2027年5月期 業績予想

04 中期経営計画2028 進捗状況

05 参考資料

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

01

当社の概要

01 当社の概要

02 2026年5月期 決算概要

03 2027年5月期 業績予想

04 中期経営計画2028 進捗状況

05 参考資料

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

会社概要

Customer Satisfaction through Lumber
木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

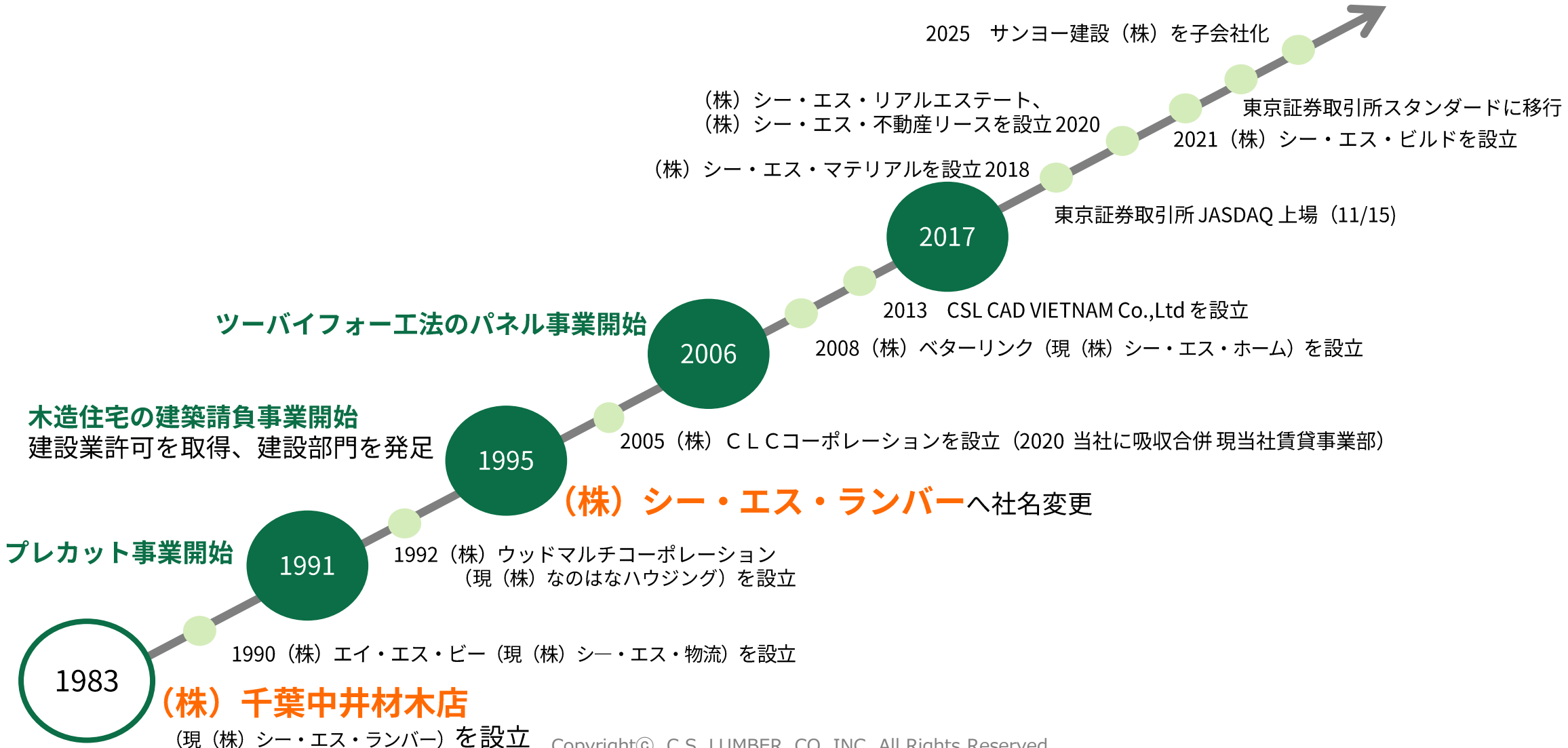
会　社　名	株式会社シー・エス・ランバー（東証スタンダード：7808）
本社所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷一丁目16番３号
代　表　者	代表取締役社長　中井　千代助
設　　立	1983年４月１日
資　本　金	536百万円
事業内容	１．プレカット事業 ●在来軸組工法における設計、木材のプレカット加工及び販売 ●ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売 ２．建築請負事業 ●木造住宅・大型木造施設の建築請負 ３．不動産賃貸事業 ●不動産賃貸・管理 ４．その他事業 ●不動産の販売
従業員数	連結　320名　他に臨時従業員　135名

（2026年5月末現在）

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

シー・エス・ランバーのあゆみ

木材を熟知する材木店から、木造建築のトータルサービス企業へ



Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

02

2026年5月期 決算概要

01 当社の概要

02 2026年5月期 決算概要

03 2027年5月期 業績予想

04 中期経営計画2028 進捗状況

05 参考資料

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2026年５月期 決算概要

■売上高20,381百万円(前期比△1.4%)、経常利益1,002百万円(同△40.4%)、当期純利益693百万円(同△40.1%)。
■プレカット事業の販売価格低迷と出荷棟数減少により前期比減収減益。
■建築請負事業は二桁増収、不動産賃貸事業は二桁の増収増益。

単位：百万円	2025年５月期		2026年５月期			
	実績		実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	20,673	100.0%	**20,381**	**100.0%**	△291	△1.4%
プレカット	15,249	73.8%	**14,430**	**70.8%**	△819	△5.4%
建築請負	5,170	25.0%	**5,814**	**28.5%**	644	12.5%
不動産賃貸	1,123	5.4%	**1,344**	**6.6%**	220	19.6%
その他	356	1.7%	**207**	**1.0%**	△149	△42.0%
粗利益	4,333	20.9%	**3,813**	**18.7%**	△519	△12.0%
プレカット	3,070	14.8%	**2,402**	**11.8%**	△668	△21.8%
建築請負	630	3.0%	**718**	**3.5%**	88	14.1%
不動産賃貸	585	2.8%	**684**	**3.4%**	99	17.0%
その他	45	0.2%	**25**	**0.1%**	△20	△43.6%
販売費及び一般管理費	2,558	12.4%	**2,679**	**13.1%**	120	4.7%
営業利益（セグメント利益）	1,774	8.6%	**1,134**	**5.6%**	△640	△36.1%
プレカット	745	3.6%	**55**	**0.3%**	△690	△92.5%
建築請負	369	1.8%	**336**	**1.7%**	△32	△8.8%
不動産賃貸	579	2.8%	**675**	**3.3%**	96	16.6%
その他	▲1	▲0.0%	**6**	**0.0%**	8	-
経常利益	1,680	8.1%	**1,002**	**4.9%**	△678	△40.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,157	5.6%	**693**	**3.4%**	△464	△40.1%

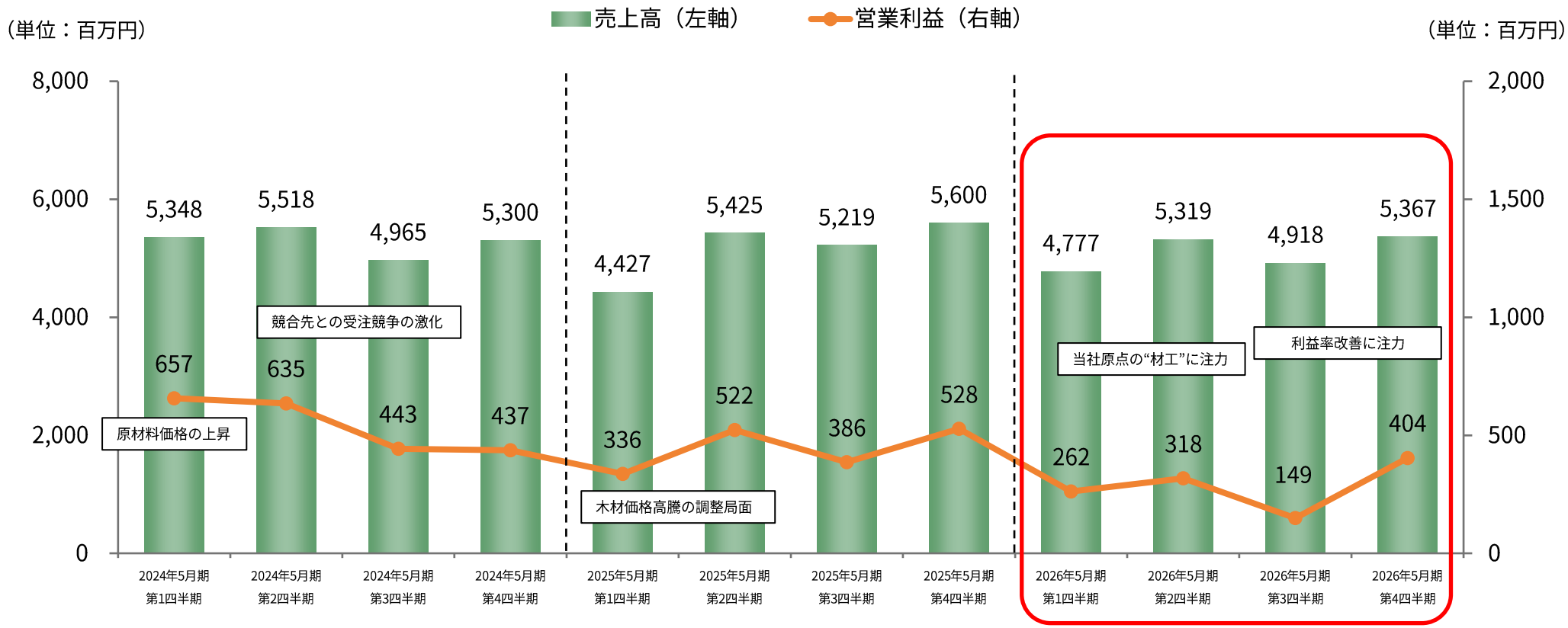
※その他事業には、不動産販売事業を区分しております。

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

※セグメント調整額を除いております。

2026年５月期 業績推移

■新設住宅着工戸数の減少等、経営環境が厳しいなか、営業力強化、「材工一体」での提供、建築請負事業のエリア拡大等により、売上高は概ね横這いを維持。
■営業利益は、低水準で推移したが、建築請負事業の収益性向上や賃貸物件取得による賃料収入増加により、第4四半期は404百万円と回復。出荷棟数の増加と利益率改善が引き続き課題。
※「材工」建築資材と建て方工事。
「建て方工事」現場で建物の主要な構造材を組立てること。木造住宅では、土台の据付から柱、梁、棟上げまでの作業工程。

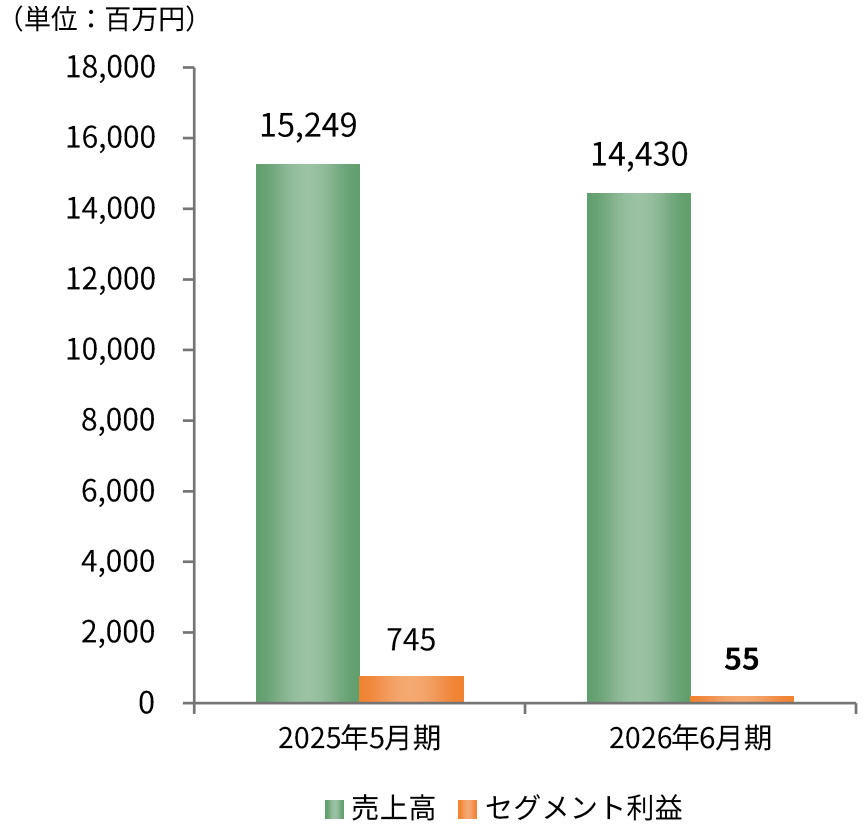


Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

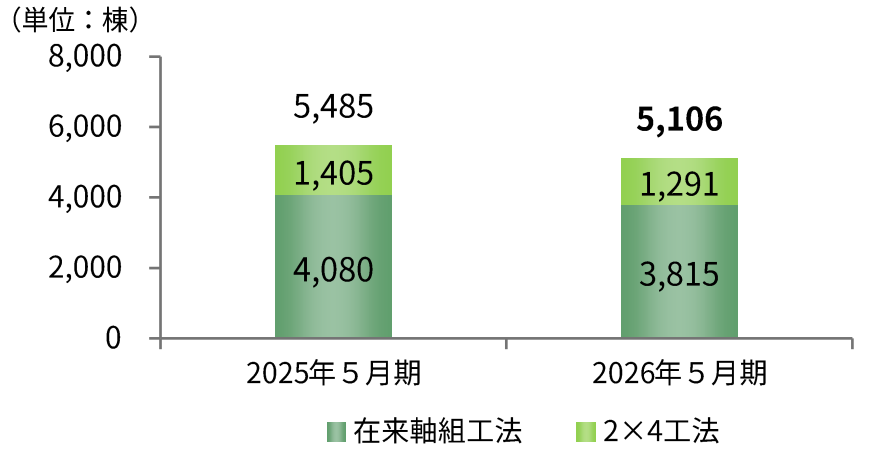
2026年５月期 プレカット事業（前年比）

■新設住宅着工戸数の減少と受注競争の激化により出荷棟数は5,106棟（△6.9%）、販売価格の低迷も重なり
売上高は14,430百万円（△5.4%）の減収。

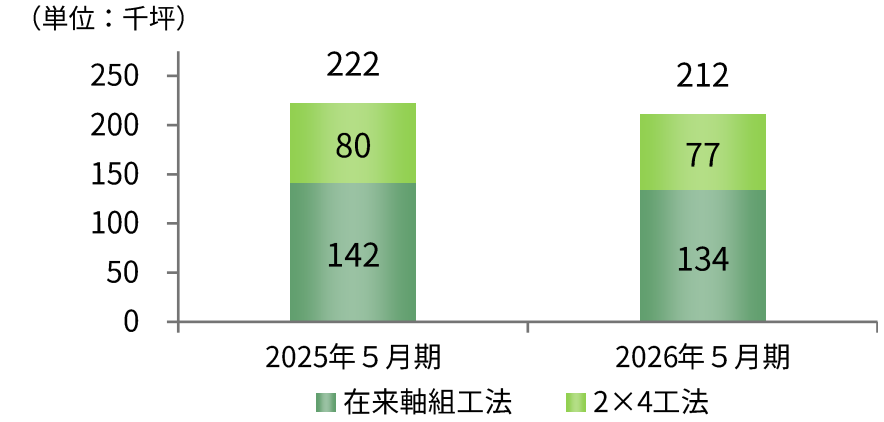
売上高・セグメント利益



出荷棟数



出荷坪数

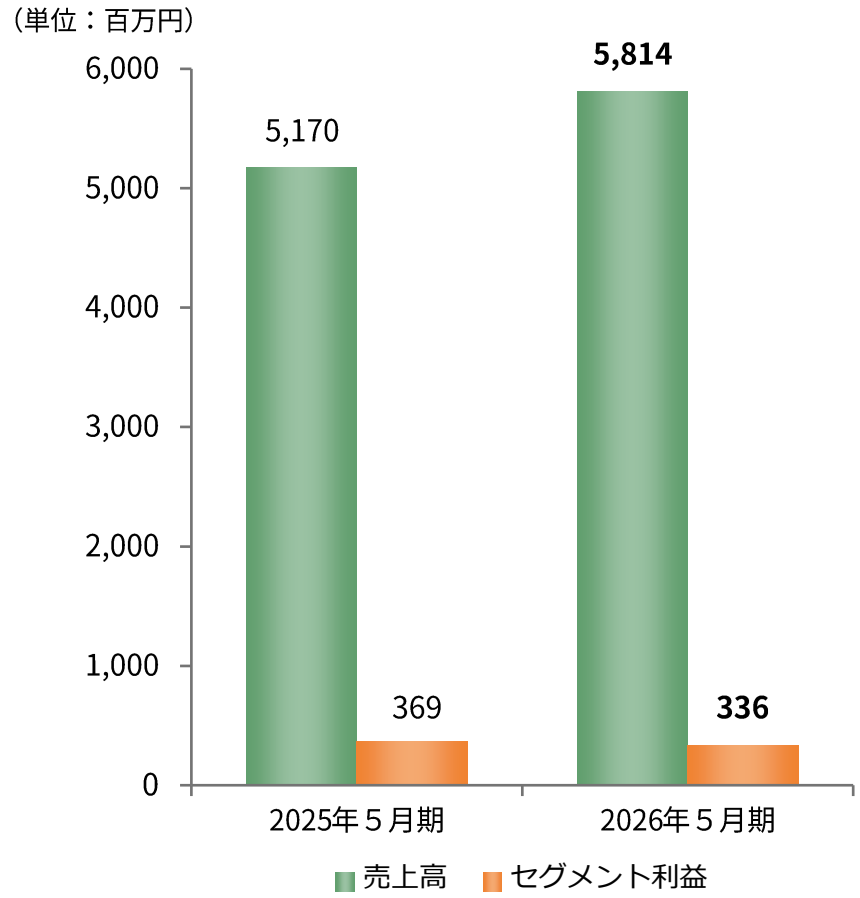


Copyright© C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

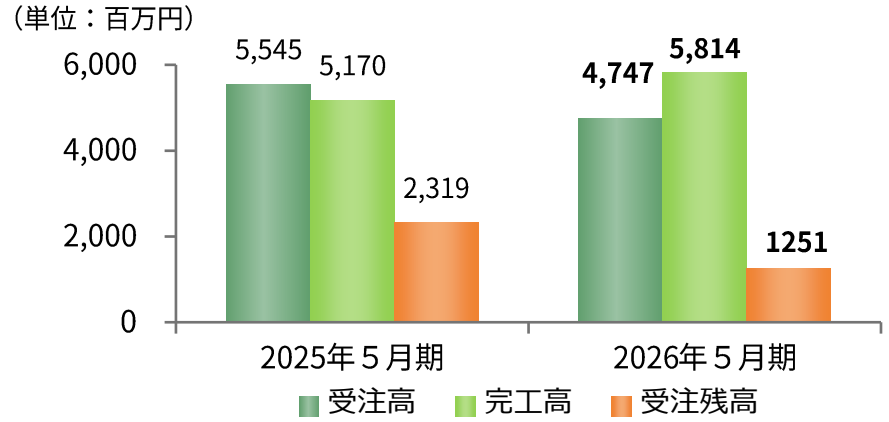
2026年５月期 建築請負事業（前年比）

■完工の進捗により売上高は5,814百万円（＋12.5%）と増収も、セグメント利益は336百万円（前期比△8.8%）と減益。
■大型（50坪以上）木造施設の着工は棟数20棟、請負金額2,693百万円（＋27.6%）と案件の大型化が進展。

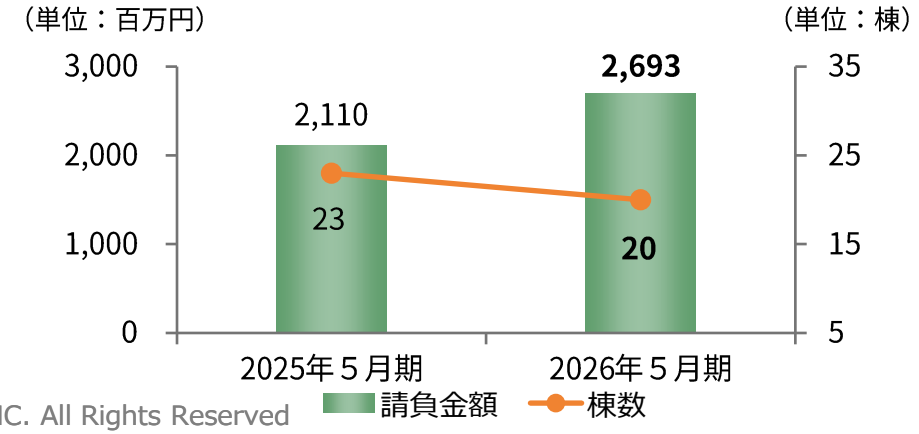
売上高・セグメント利益



受注・完工・受注残



大型（50坪以上）木造住宅・施設着工棟数

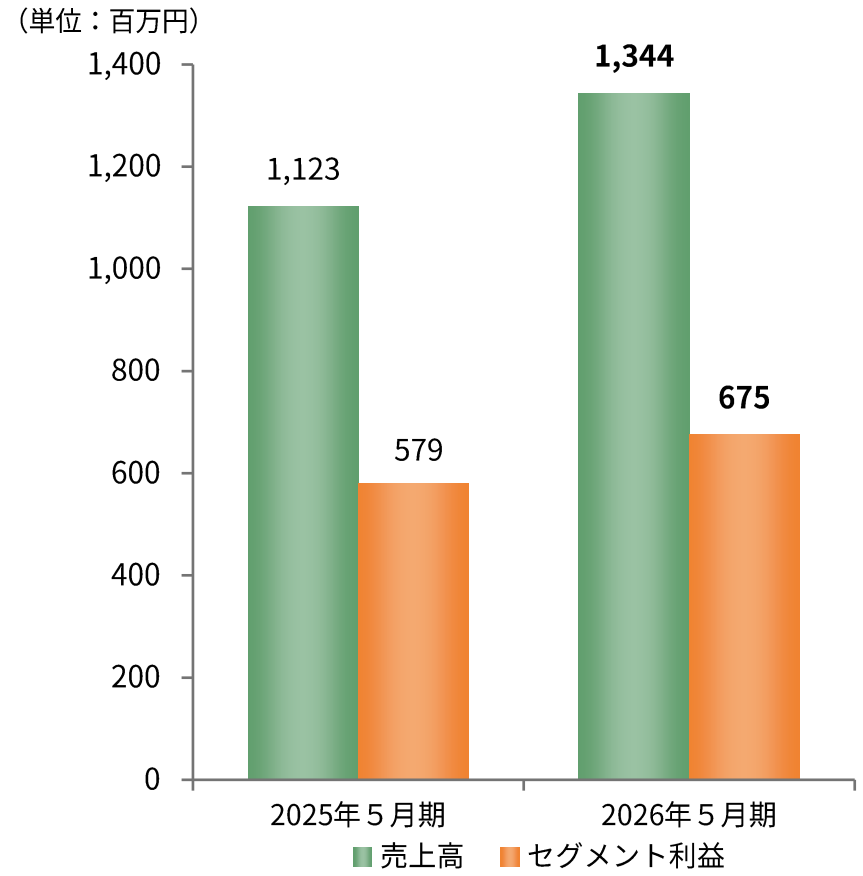


Copyright© C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2026年５月期 不動産賃貸事業（前年比）

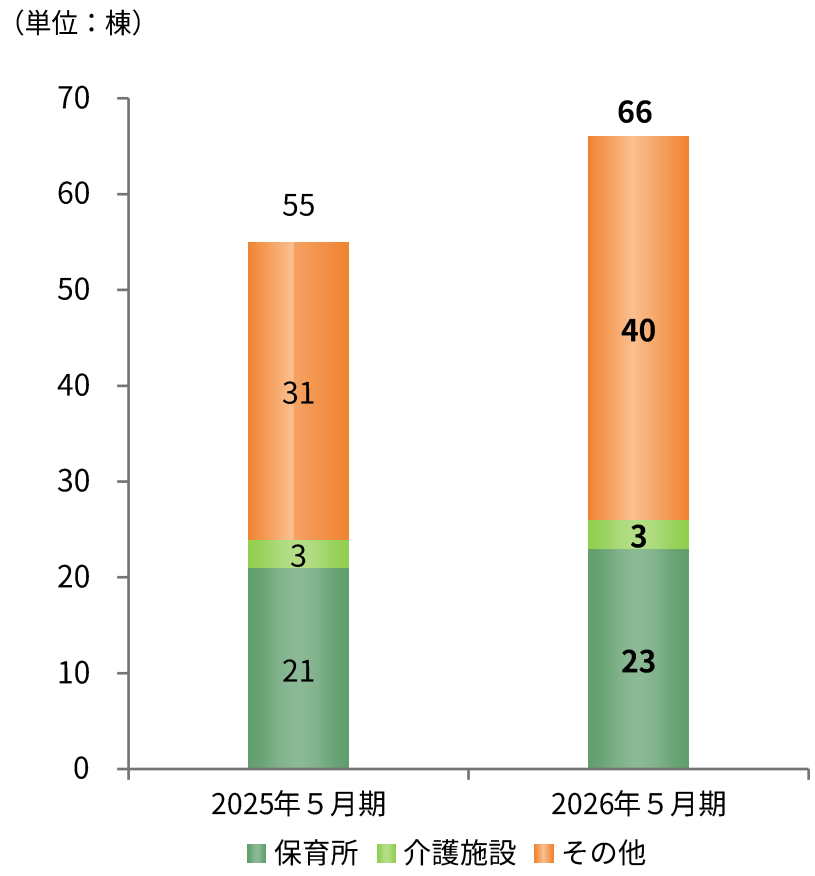
■新規物件の取得により賃貸及び管理棟数は66棟（前期比＋11棟）に拡大し、売上高1,344百万円（＋19.6%）、
セグメント利益675百万円（＋16.6%）の増収増益。

売上高・セグメント利益



賃貸収入の推移については32ページをご参照ください

賃貸及び管理棟数



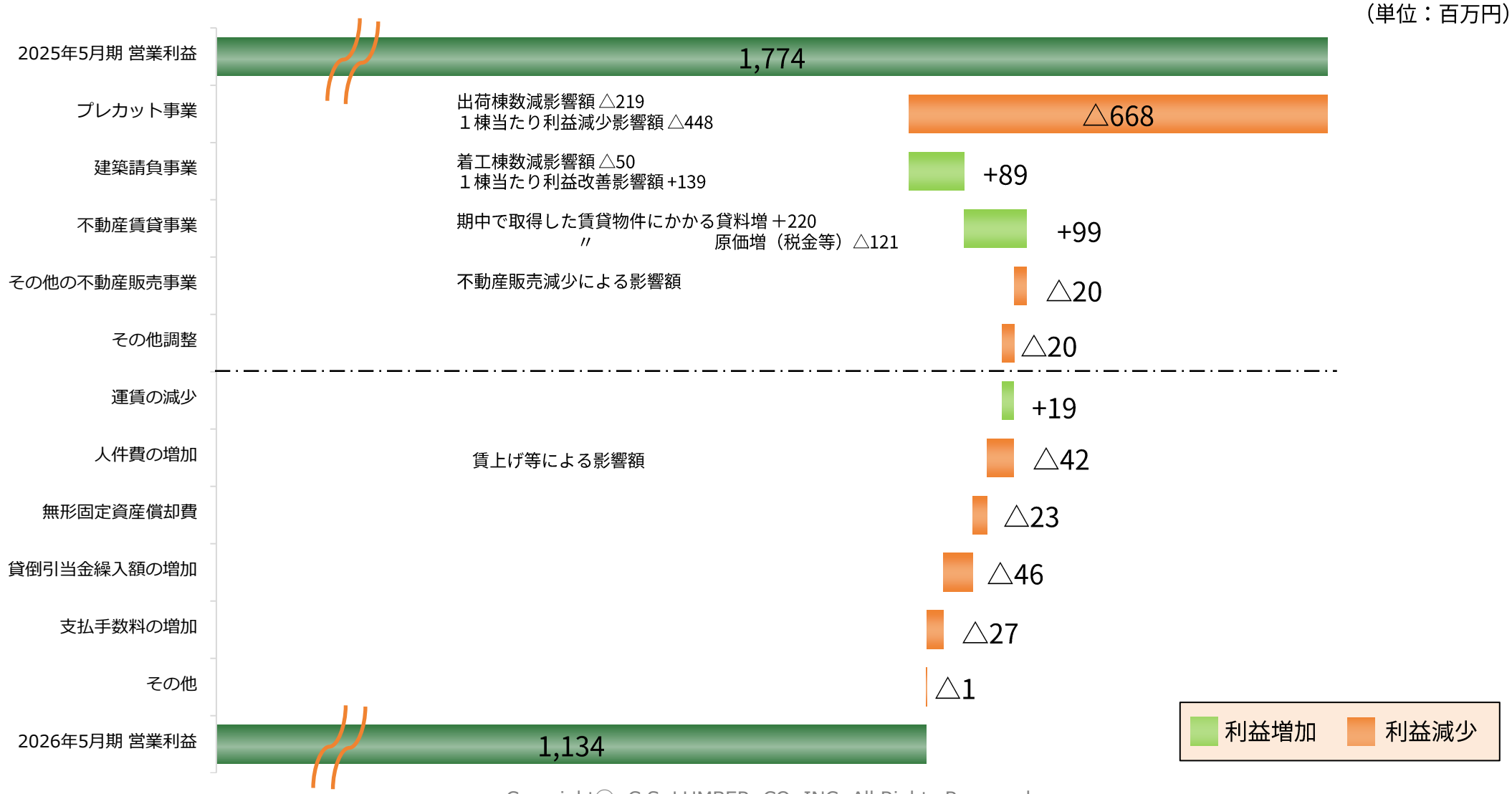
保育所23物件 その他43物件から安定した賃貸収入

Copyright© C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2026年５月期 営業利益の増減（前年比）

■前年同期比での営業利益減少要因は、プレカット事業の下振れ（出荷棟数減少、1棟当たり利益減少）。

（単位：百万円）



Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2026年５月期 貸借対照表

■有形固定資産の増加（＋3,570百万円）により総資産は30,279百万円（前期末比＋12.4%）に拡大。
■賃貸物件の取得資金は長期借入金で調達し、短期借入金は295百万円圧縮。長期資産に長期資金を対応させた調達構造を維持。
■自己資本比率は39.2%（前期末41.9%）に低下も、株主資本は545百万円増加、現金及び預金は5,054百万円と手元流動性を確保。

単位：百万円	2025年５月期		2026年５月期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	9,569	35.5%	**9,233**	**30.5%**	△336	△3.5%
現金及び預金	5,045	18.7%	**5,054**	**16.7%**	9	0.2%
受取手形、売掛金及び契約資産	3,275	12.2%	**2,841**	**9.4%**	△434	△13.3%
商品及び製品	69	0.3%	**48**	**0.2%**	△20	△29.9%
販売用不動産	330	1.2%	**241**	**0.8%**	△88	△26.9%
仕掛品	261	1.0%	**328**	**1.1%**	66	25.5%
原材料及び貯蔵品	481	1.8%	**581**	**1.9%**	100	20.8%
その他	106	0.4%	**138**	**0.5%**	31	30.0%
固定資産	17,368	64.5%	**21,045**	**69.5%**	3,677	21.2%
有形固定資産	16,427	61.0%	**19,998**	**66.0%**	3,570	21.7%
無形固定資産	197	0.7%	**242**	**0.8%**	44	22.6%
投資その他の資産	743	2.8%	**805**	**2.7%**	61	8.3%
資産合計	26,938	100.0%	**30,279**	**100.0%**	3,340	12.4%

単位：百万円	2025年５月期		2026年５月期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動負債	7,937	29.5%	**7,993**	**26.4%**	55	0.7%
支払手形及び買掛金	3,646	13.5%	**3,897**	**12.9%**	250	6.9%
短期借入金	2,200	8.2%	**1,905**	**6.3%**	△295	△13.4%
1年内償還予定の社債	230	0.9%	**190**	**0.6%**	△40	△17.4%
１年以内返済予定の長期借入金	554	2.1%	**769**	**2.5%**	214	38.7%
リース債務	74	0.3%	**87**	**0.3%**	13	17.9%
未払い法人税等	202	0.8%	**123**	**0.4%**	△79	△39.3%
その他	1,029	3.8%	**1,020**	**3.4%**	△8	△0.8%
固定負債	7,711	28.6%	**10,403**	**34.4%**	2,691	34.9%
長期借入金	6,620	24.6%	**9,201**	**30.4%**	2,580	39.0%
リース債務	135	0.5%	**369**	**1.2%**	233	172.9%
その他	955	3.5%	**832**	**2.8%**	△123	△12.8%
負債合計	15,649	58.1%	**18,396**	**60.8%**	2,746	17.6%
株主資本合計	11,177	41.5%	**11,722**	**38.7%**	545	4.9%
純資産合計	11,289	41.9%	**11,883**	**39.2%**	594	5.3%
負債純資産合計	26,938	100.0%	**30,279**	**100.0%**	3,340	12.4%

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2026年５月期 キャッシュ・フロー

■営業活動によるキャッシュ・フローは1,835百万円のプラスを確保（前期2,155百万円）。
■投資活動によるキャッシュ・フローは△4,610百万円。固定資産の取得（△3,743百万円）を中心に、前期に続き積極的な設備投資を継続。
■財務活動によるキャッシュフローは、長期借入による調達を主因に1,940百万円の増加。投資資金を長期資金で賄う構造を維持し、現金及び現金同等物の期末残高は2,475百万円。

単位：百万円	2025年５月期	2026年５月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,155	**1,835**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,547	**△4,610**
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,585	**1,940**
現金及び現金同等物の増減額	△1,810	**△836**
現金及び現金同等物の期首残高	5,122	**3,311**
現金及び現金同等物の期末残高	3,311	**2,475**

単位：百万円	2025年５月期	2026年５月期
固定資産の取得による支出	△3,769	**△3,743**
減価償却費	420	**569**

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

03

2027年5月期 業績予想

01 当社の概要

02 2026年5月期 決算概要

03 2027年5月期 業績予想

04 中期経営計画2028 進捗状況

05 参考資料

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2027年5月期 業績予想

■新設住宅着工戸数の伸び悩み、競合他社との価格競争の激化が継続する予想。
■売上高は、前期比103.0%に留まるが、徹底した歩留まりの追求や「材工一体」営業により利益水準を確保。

	2026年5月期 実績	2027年5月期 業績予想	前期比
売上高	203億円	210億円	103.0%
経常利益	10億円	12.7億円	126.7%
経常利益率	4.9%	6.0%	―
純利益	7.0億円	9.1億円	131.3%

2027年5月期 重点施策

✓材工一括受注の提案強化：大工職人（建て方／内装）の紹介と併せた受注強化
✓歩留りの追求　　：仕入の工夫、徹底した端材の有効活用、樹種提案力強化
✓賃貸物件への積極的投資：安定的な賃料収入と底堅い利益の確保に向けた優良賃貸物件の取得

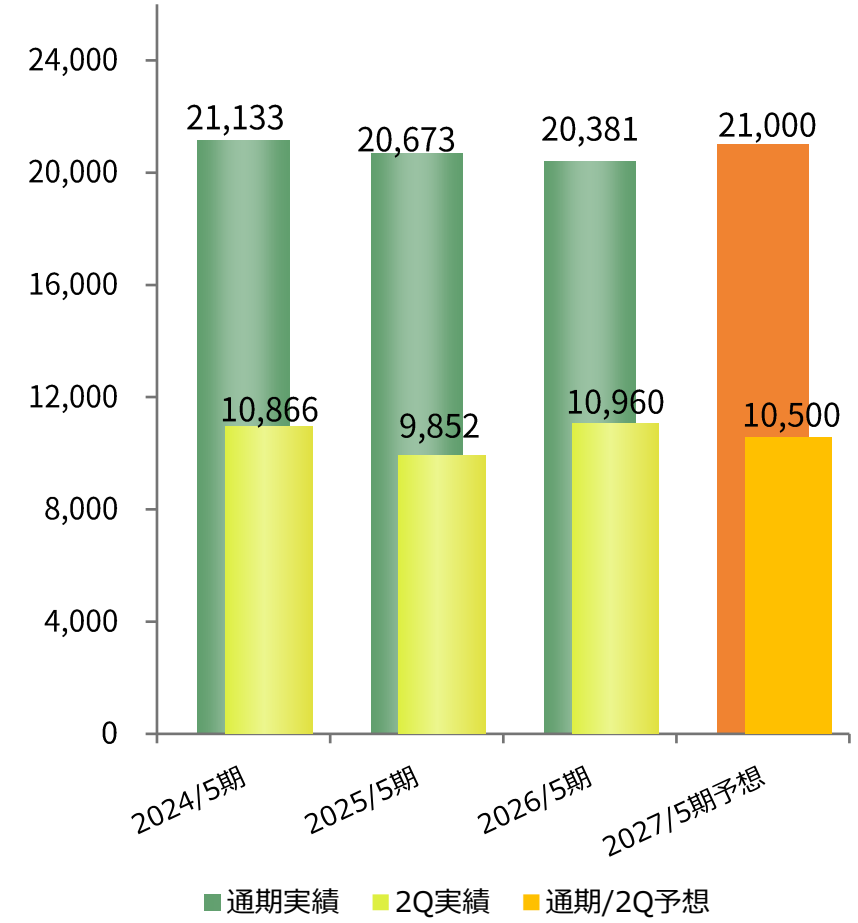
Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2027年5月期 業績予想

■2027年５月期は、売上高は前期比103.0%、営業利益は同131.4%と予想。

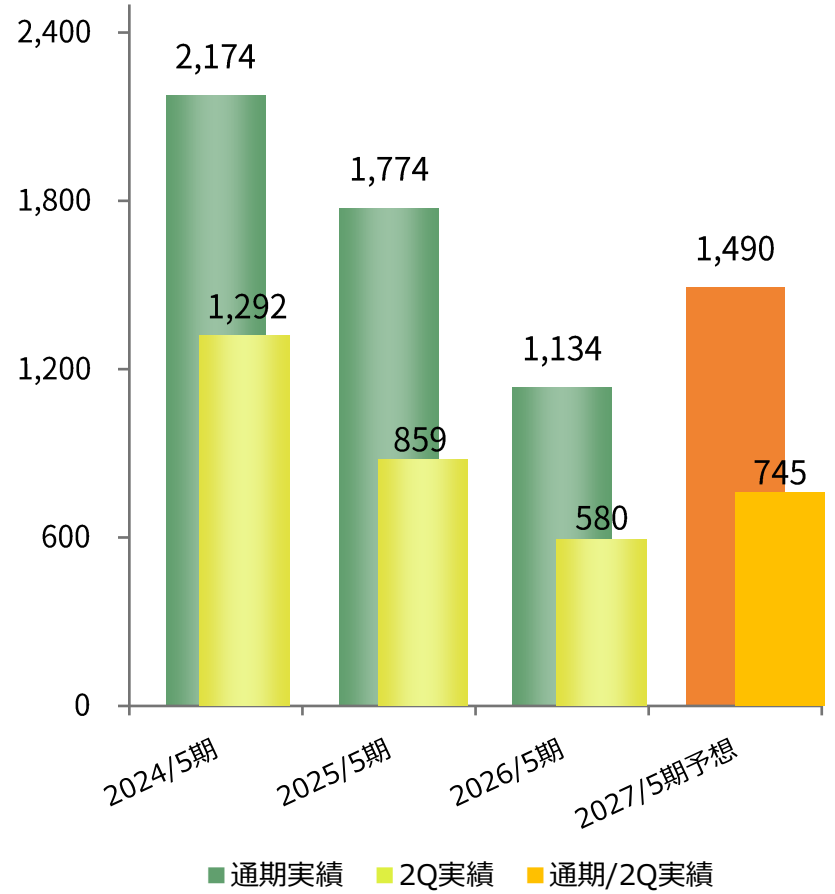
売上高

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2027年5月期 業績予想

■プレカット事業は、「材工一体」の取組により出荷棟数を確保していくことで増収増益を見込む。
■建築請負事業は、大手取引先からの安定的な受注の確保、非住宅案件の受注により売上アップ。

（単位：百万円）	売上高	前期比	セグメント利益	前期比
プレカット	17,045	118.1%	410	745.0%
建築請負	6,019	103.5%	350	101.0%
不動産賃貸	1,451	108.0%	500	76.0%
その他	169	81.5%	5	85.0%

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

2027年5月期 業績予想

プレカット事業	2027年5月期	前期比
プレカット棟数	5,329棟	104.0%
プレカット坪数	215千坪	101.6%
トラック保有台数	25台	100.0%
建て方棟数	742棟	102.3%

不動産賃貸事業	2027年5月期	前期比
保育所賃貸数	23物件	100.0%
福祉施設・アパート等賃貸数	53物件	123.3%

建築請負事業	2027年5月期	前期比
建築完工	205棟	109.2%
大型木造施設	21棟	77.8%

不動産販売事業	2027年5月期	前期比
販売区画数	21区画	233.3%

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

配当政策

■2027年５月期の配当は80円を予想。

配当政策の基本方針

将来の事業展開と経営体質強化
に必要な**内部留保の強化**

継続性・安定性

経営成績に応じた
配当の実施

＜内部留保強化の必要性＞
安定した経営基盤の確立、持続的成長、長期的な企業価値向上
（施策）・財務体質強化のための借入金の返済
・プレカット製品の安定供給を可能にするための将来の投資

配当金額

2024年５月期１株当たり年間配当金（実績）：80円（期末80円）
2025年５月期１株当たり年間配当金（実績）：80円（期末80円）
2026年５月期１株当たり年間配当金（実績）：80円（期末80円）

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

04

中期経営計画2028　進捗状況

01　当社の概要

02　2026年5月期 決算概要

03　2027年5月期 業績予想

04　中期経営計画2028 進捗状況

05　参考資料

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

シー・エス・ランバー VISION 2032（50期）

社是・経営理念	**Customer Satisfaction through Lumber 木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する** **一、我社は、木造住宅資材の販売流通を通して社会に貢献する。** **二、我社は、顧客満足と会社の繁栄、社員の幸福を一致させる。** **三、我社は、数値に基づく行動と現場主義の徹底を行動原理とする。**
目指す将来像	**創業50周年(2032年)を迎えるシー・エス・ランバーグループの目指す将来像**
中期経営計画 ２０２８	**▶ 新設住宅着工戸数が減少する中、競合他社との価格競争が厳しいことから建て方を提案する『材工』でのプレカット販売を強化** **▶ 安定的な収益源として賃貸収益物件を中心とした不動産事業の増強**

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

目指す将来像 ー VISION 2032（50期）

高品質なプレカット製品の提供を
通じた顧客満足の追求

＋

賃貸事業からの安定的な収益を背景に
創意工夫を通じて進化

プレカット販売を基盤としつつ、
プレカット販売の枠にとらわれることなく
創意工夫で多様な収益源を創りながら、
事業の拡大、成長を続ける企業集団を目指す。

基盤となるプレカット販売では、

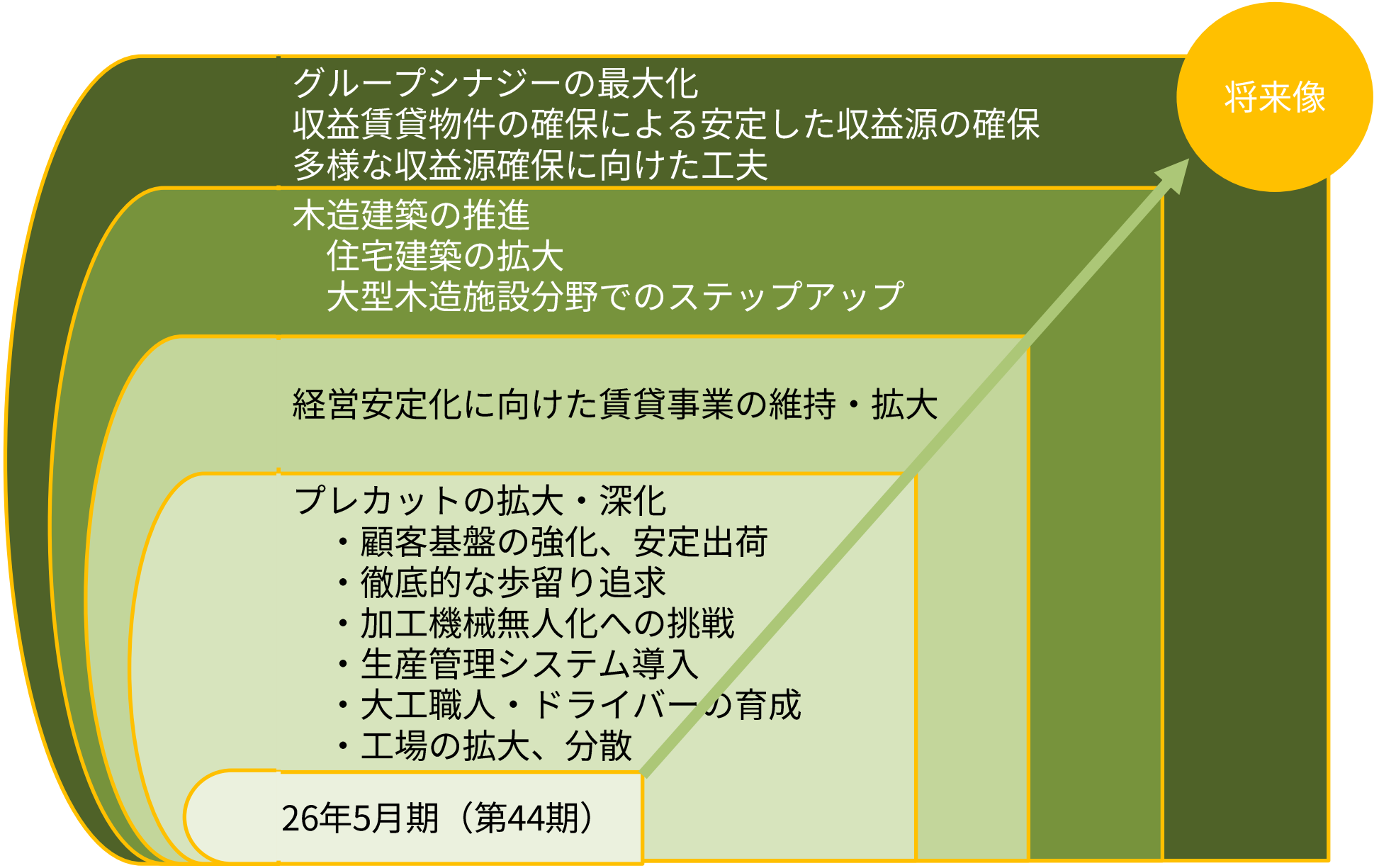
▶ 建て方提案を伴う『材工』での販路拡大

▶ サイディングプレカットへの参入

▶ 工場の無人化に挑戦

Copyright© C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

中期経営計画2028　将来像へ向けた戦略



Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

中期経営計画2028進捗

	2026年5月期	中期経営計画目標 2028年5月期
プレカット棟数	5,106棟	5,900棟
プレカット坪数	212千坪	249千坪
トラック保有台数	25台	30台
建て方棟数	725棟	1,040棟
建築完工	188物件	280物件
大型木造施設 （完工）	27物件	15物件
保育所賃貸数	23物件	23物件
福祉施設・ アパート等賃貸数	43物件	51物件
不動産販売区画	10区画	30区画 (不動産販売：3年間累計)
建材販売	6.6億円	11億円

【プレカット事業】
■マーケット環境は、住宅着工戸数が減少傾向にあり厳しい状況。競合他社との価格競争も更なる激化が想定されるが、建て方等の職人の紹介を含めた『材工』による販売手法で適正利益率を確保。
■取引先の裾野を拡大すべく、新規先や休眠先へのアプローチの取組を強化。

【建設事業】
■提案型営業を強化し、不動産業者や工務店への新規販路拡大。
■大型木造案件完工実績のアピールを行い、非住宅請負案件の増加。

【賃貸事業】
■千葉市周辺の駅近を重点エリアとし、将来の戸建て・マンション分譲地となり得る物件への積極的な投資の継続。

【不動産販売事業、その他事業】
■不動産販売事業は、自然エネルギー活用等、特色ある住宅の提案で、土地・建物を一括提案。
■建材事業は、プレカット納入先へ建具・ボード等の販売強化。

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

財務体質の改善　2032年

✓既存保育所の借入金は2024年5月に完済。

✓有利子負債　25億円未満

2025年6月 ー 2026年5月期　　返済額　1,512百万円

残　12,235百万円

※リース債務を除く

既存不動産の賃料収入（見込）

年間賃貸収入　1,423百万円

既存保育所	年間賃貸収入	540百万円
その他不動産	年間賃貸収入	883百万円

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

05

参考資料

01 当社の概要

02 2026年5月期 決算概要

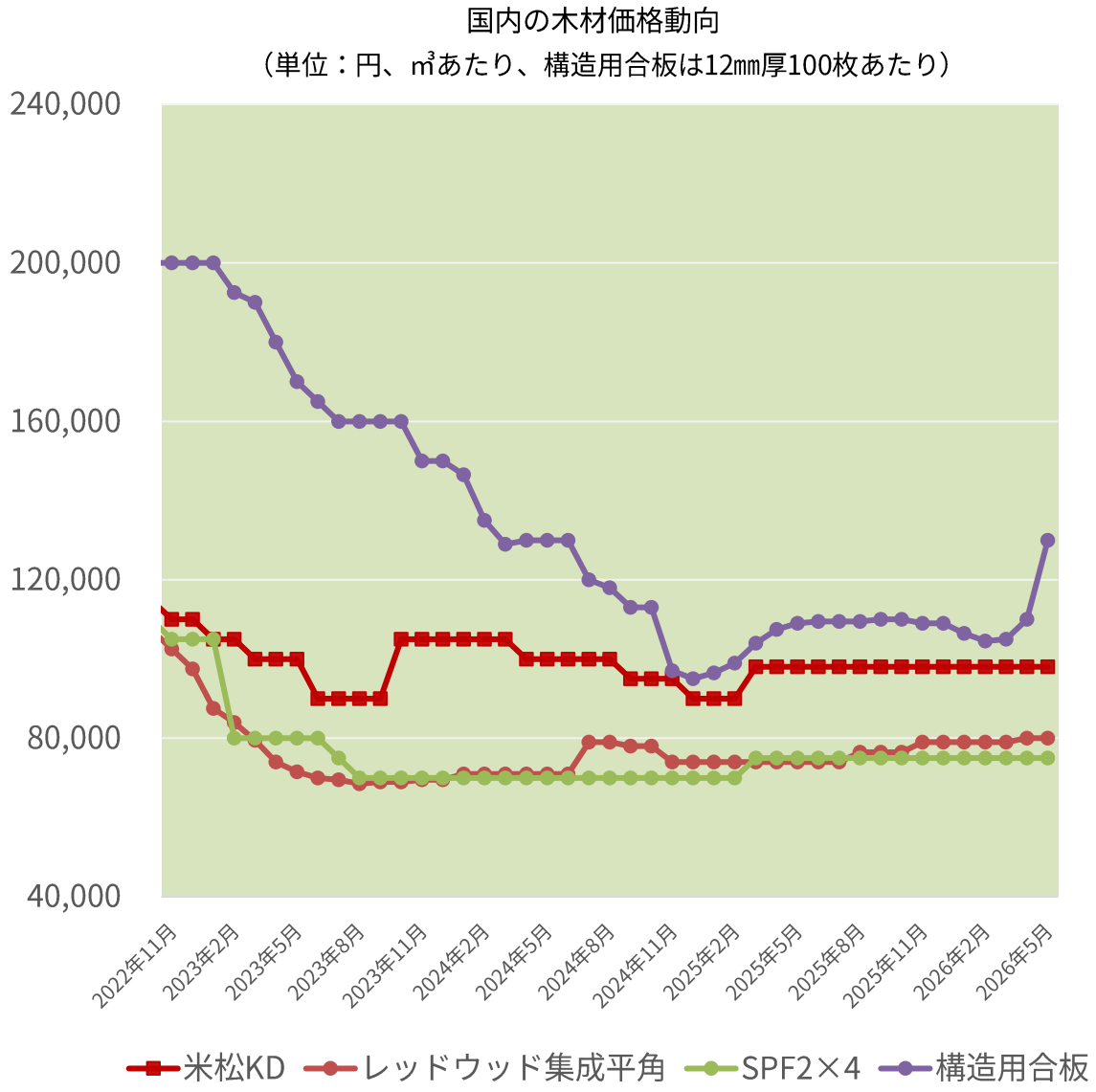
03 2027年5月期 業績予想

04 中期経営計画2028 進捗状況

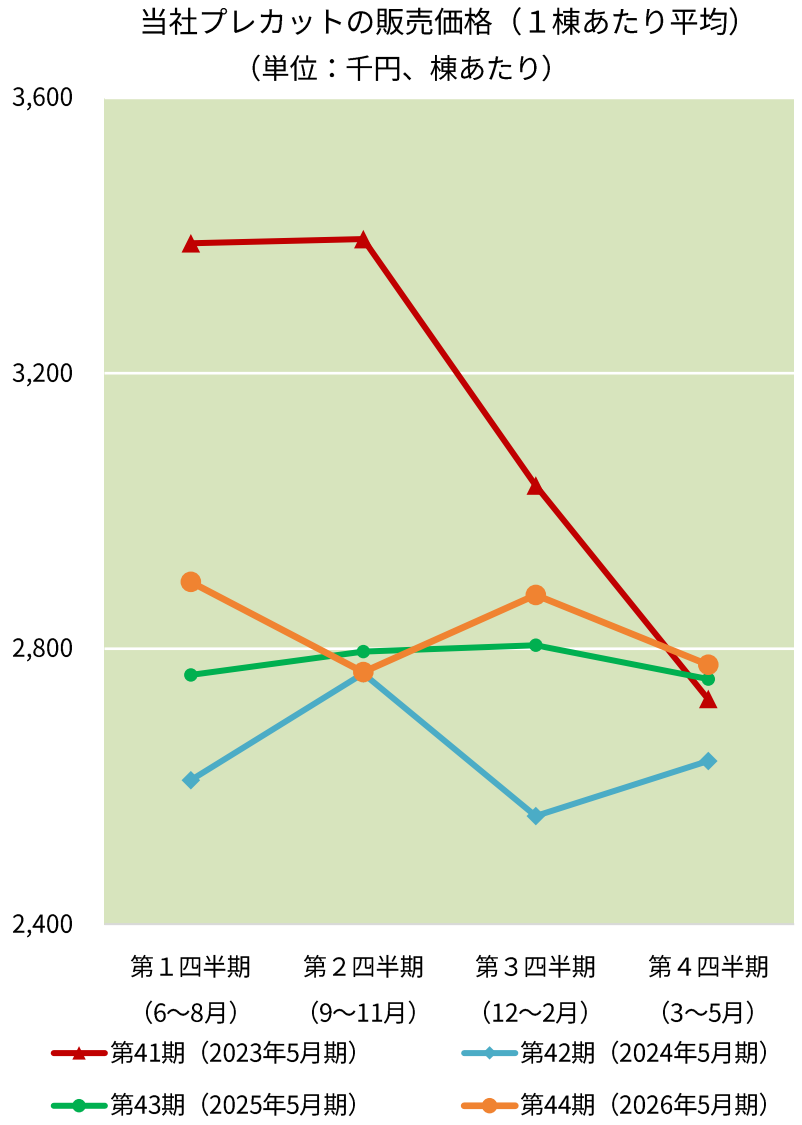
05 参考資料

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

国内の木材価格動向と当社プレカットの販売価格（１棟当たり平均）



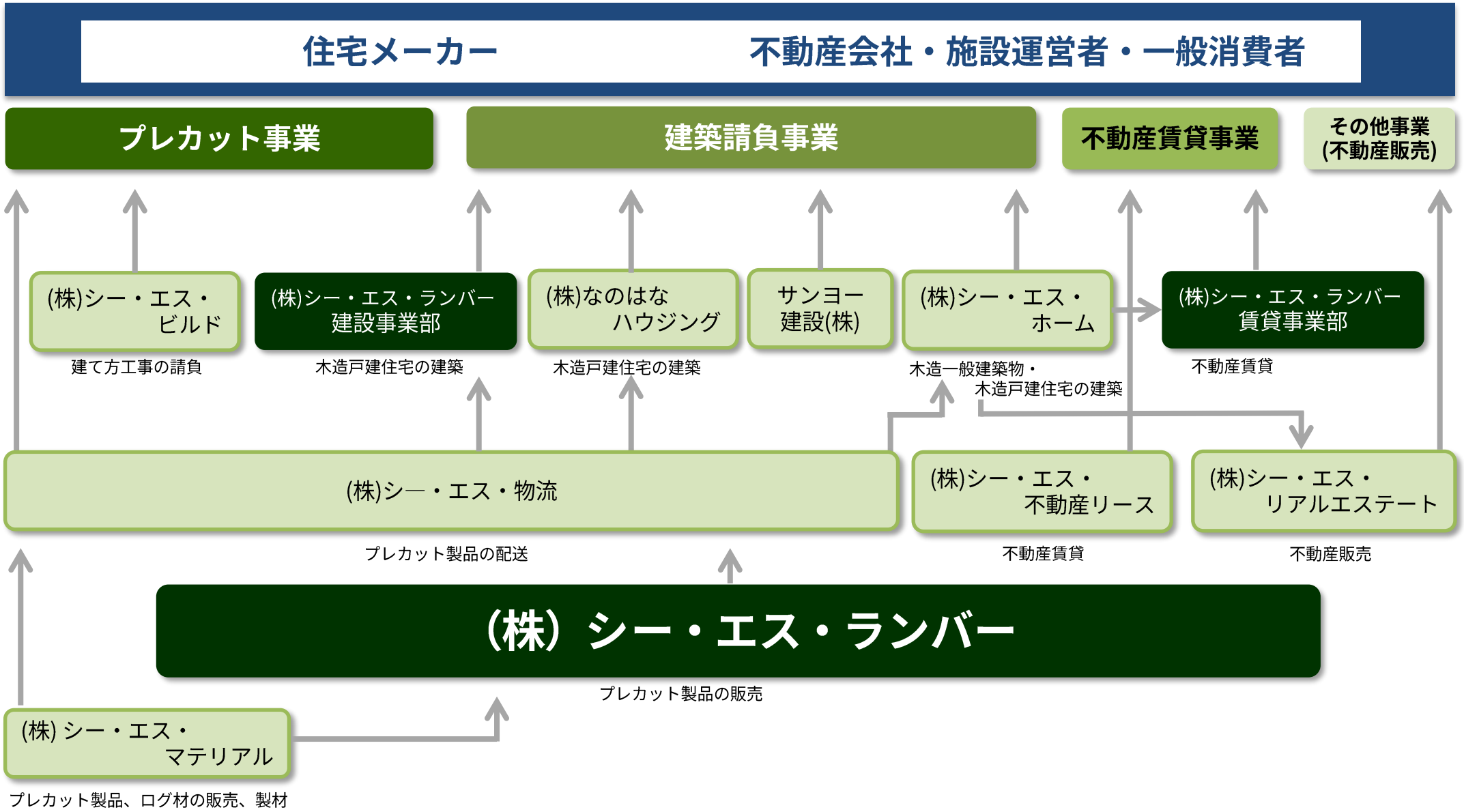
出所：日刊木材新聞



出所：当社決算短信

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

事業系統図



Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

事業概要（1）プレカット事業①

在来軸組工法における設計（CAD）、木材のプレカット加工及び販売
ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売

「木造建築の主要2工法に対応」した加工・販売

在来軸組工法（山武工場）

日本で最も主流の工法
基礎の上に木の土台を据えて、柱と柱を梁で水平につぎ、
対角線を筋交いで補強する

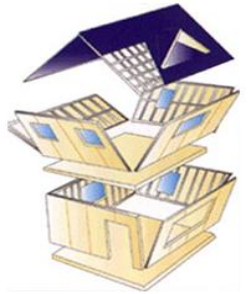




ツーバイフォー工法（東金工場）

枠状に組まれたツーバイ材に構造用合板を打ち付けた壁や
床（面材）で支える「枠組み」構造
隙間が大変少なく、気密性・防音性に優れている





Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

事業概要（1）プレカット事業②

北欧などからの製品輸入が中心のログハウスプレカット事業に参入（2019年）



カントリーテイストのある木造家屋が都市部住宅街にも建ち始めている傾向を捉え、ログハウスメーカーとタイアップしてプレカットを開始
在来軸組工法、ツーバイフォー工法の技術も必要とされており、親和性大

プレカット事業を軸に、建築請負事業も展開している

ATAハイブリッドトラス構法のプレカット事業に参入（2020年）

「無柱大空間を可能にした非住宅・中大規模木造トラス構法」を生んだ株式会社ATA（アタ社）様の提携プレカット工場となる

商業・工場・スポーツ施設など建物用途は多岐多様、鉄骨から木造への脱炭素の動き

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

事業概要（2）建築請負事業

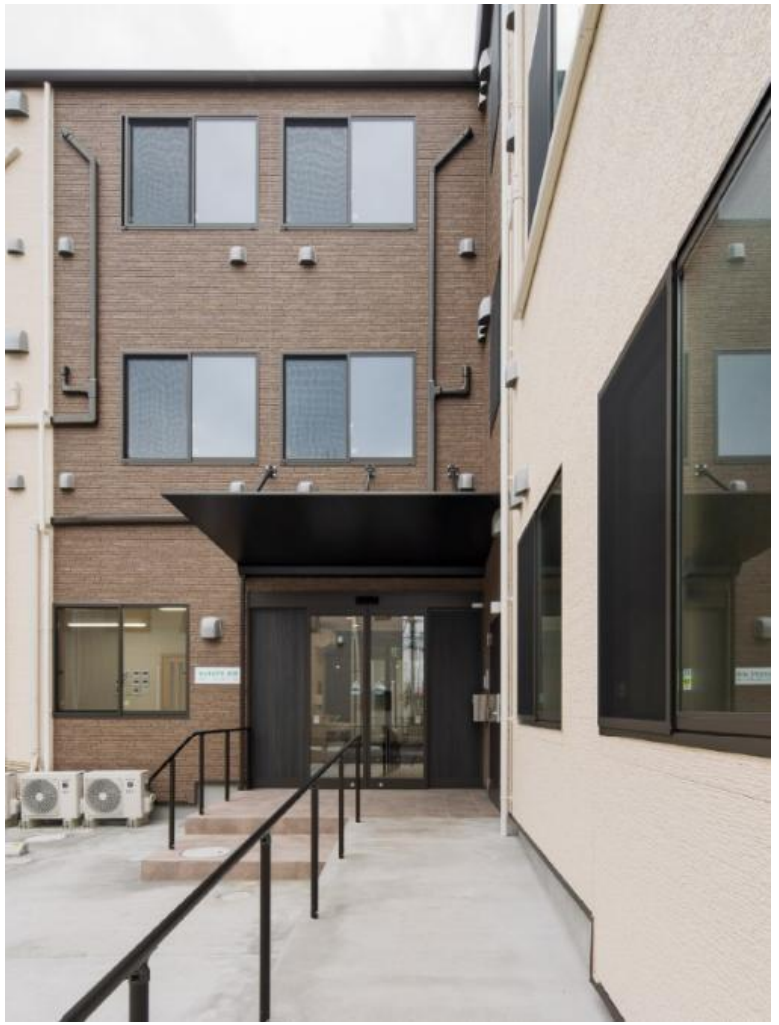
木造戸建住宅・木造一般建築物の建築（大型木造施設等）の建築請負

当社のプレカット製品を仕入れて、
木造住宅・保育所等の大型木造施設を合わせ
年間200棟の施工

共同住宅（千葉県佐倉市）



住宅型有料老人ホーム（千葉県成田市）

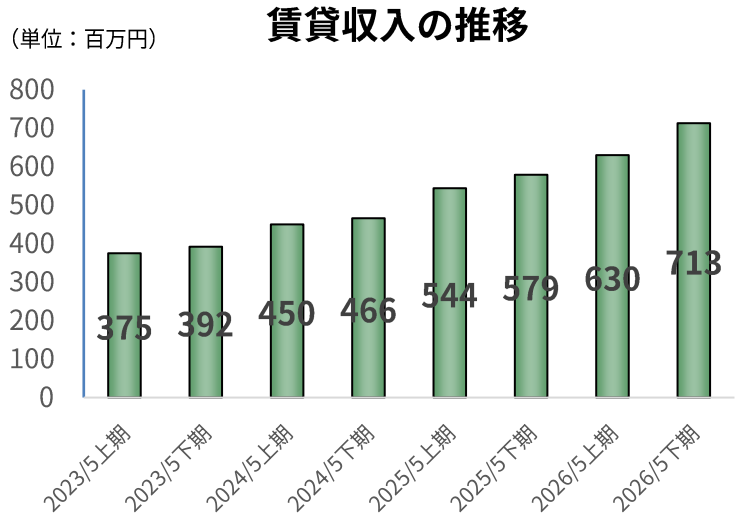


Copyright© C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

事業概要（3）不動産賃貸事業

長期安定契約を基本方針とした不動産賃貸及び管理

賃貸収入の推移



共同住宅（千葉県千葉市花見川区）



共同住宅（千葉県千葉市花見川区）



保育園（東京都江戸川区中葛西）



Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

付加価値を創造する木造建築のトータルサービス

- 材木店経営で培った木材（業界）に関する豊富な知識を活かし、
  木材の仕入れから加工、建築、賃貸・販売までグループ内で行うことで、付加価値を創造

プレカット事業

歩留まり（端材の削減）の追求力


木材の仕入れ


加工


配送

- **木材の豊富な知識を活かした仕入力、提案力**
- **木造建築の主要２工法へ対応した安定力**
- **コスト競争力(歩留まり追求力）、供給力、高品質**
- **首都圏特化による現場対応力、効率性**
- **強い顧客基盤**

建築請負事業


建築

不動産賃貸事業


賃貸・管理

その他事業（不動産の販売）


住宅用地の販売


住宅販売

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

当社の強み（2）プレカット事業（在来軸組工法 山武工場）

ピッキングシステムと新式プレカット加工ラインの導入により、**高い歩留まり・生産性を実現**

ピッキングシステム（邸別ピッキング用自動倉庫）

更なる「歩留まり追求」を目的に導入
⇒　歩留まりが約10%向上

・コンピュータ制御による在庫管理技術の向上に伴い、
必要な木材のより適切な仕入れが可能となり、**材料費を削減**
・材料の木材の入庫、出庫の自動化により、**生産性も向上**



プレカット加工ライン



・加工能力向上に加え、従来難しかった複雑な加工も可能になり機械化率が上昇し、**生産性も向上**

・製品の**品質安定化**にも貢献

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

当社の強み（3）プレカット事業（ツーバイフォー工法 東金工場）

全部位（壁・床・屋根）のパネルを加工し、現場に配送

・建築現場における工数が大幅に削減される他、高度技術者も不要となり、
付加価値の高い製品を提供


壁パネル


床パネル


屋根パネル

大量かつ安定供給が可能な東金工場

・広大な敷地（68,435㎡）の東金工場に設備を集約し、パネルの大量生産・保管、安定供給体制を確保

・東金インターから約10分の好立地で、効率化された自社配送

機械化が進んだ生産ライン

・在来軸組工法で培ったノウハウを活かし、機械化を推進
複雑な形状の加工においても機械化を進め、高品質、高い生産性を確保


マルチカットライン
（木材のカット）


マルチカット製品


パネルシージングライン
（自動釘打ちマシーン）

- クロス（直切り）カットライン　2ライン
- マルチカットライン　2ライン
- パネルシージングライン　2ライン

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

当社の強み（4）プレカット事業（首都圏に特化）

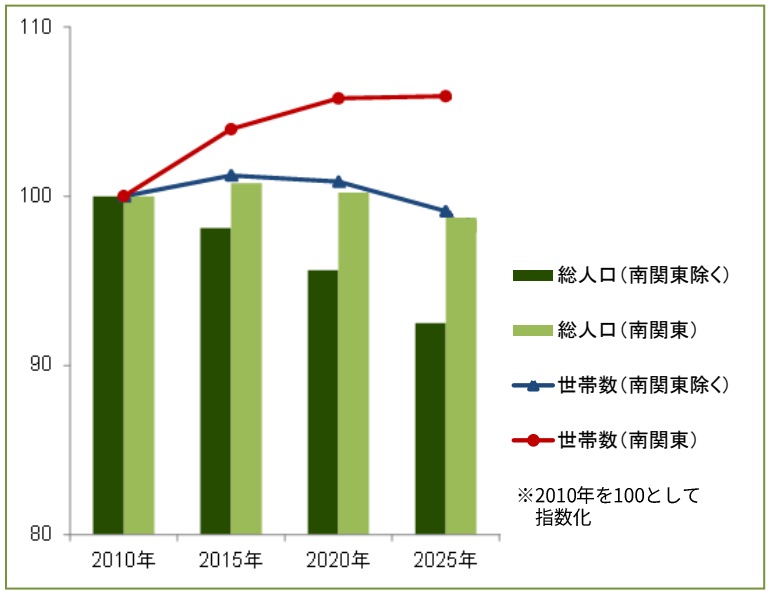
人口が集中する首都圏（１都４県）に絞った生産・営業拠点



展開エリアを絞ることにより

- **お客様のニーズへの迅速な対応（企画・設計・アフターサービス）**
- **営業効率**
- **配送効率**

生産性向上による コスト競争力

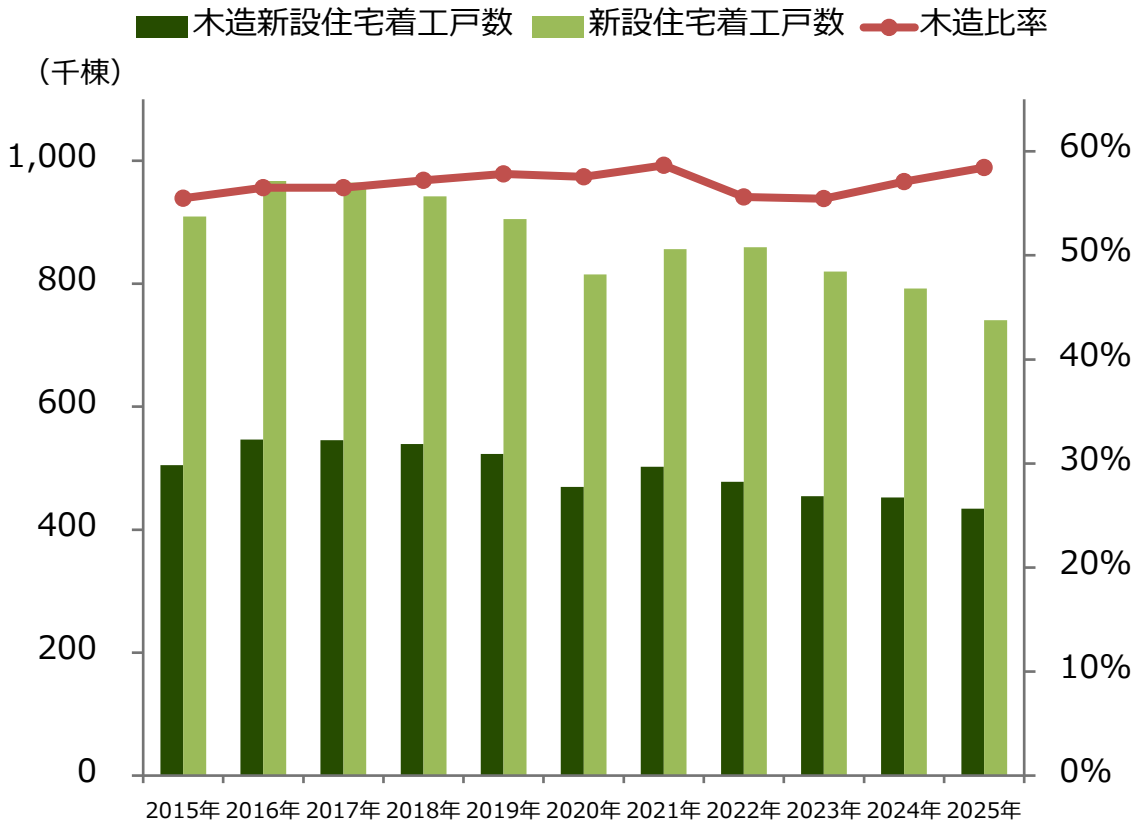


出所：国立社会保障・人口問題研究所「全国人口将来推計」より当社作成

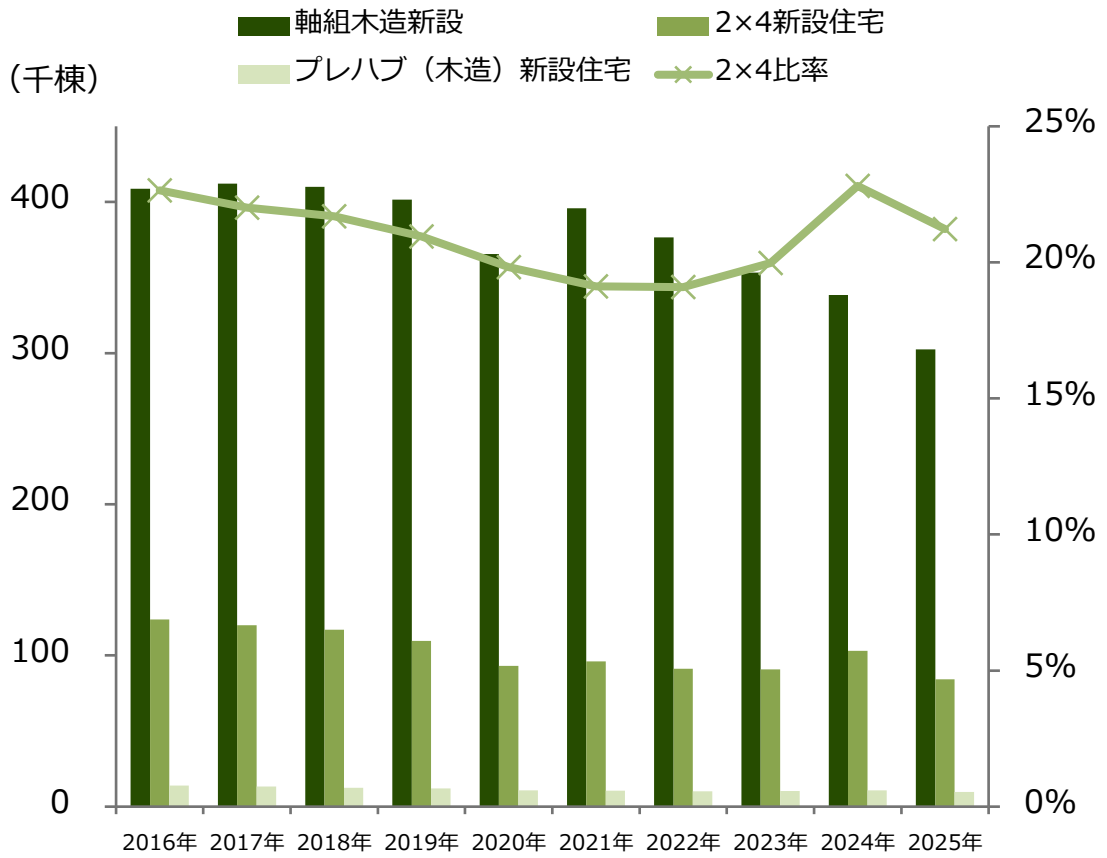
Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

木造建築の市場動向

新設住宅着工戸数に占める木造新設住宅着工戸数の割合



工法別木造新設住宅着工戸数とツーバイフォー比率



出所：国土交通省「建築着工統計調査住宅着工統計」より当社作成

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

サステナビリティ　持続可能な社会の実現に向けて

E

当社グループで展開している事業は、炭素を貯蔵する働きのある木材資源を有効活用していくビジネスモデルとなっており、事業の発展を通じて、地球環境の維持、特に地球温暖化防止に対して、積極的にその役割を果たしてまいります。

木材資源に関する３Ｒ活動
合法木材の利用推進
再生可能エネルギーの利用推進
省エネルギー化の促進

S

プレカット事業、建築請負事業において、ISO9001を取得しており、プレカット製品の設計、製造、建築物の設計、施工などの品質維持・向上を図っております。

少子化・待機児童対策
雇用形態による労働条件格差の是正
年次有給休暇の取得の促進
労働環境の多様性
多様な人材の採用
労働安全衛生・メンタルヘルス

G

木材に関する事業を通じて、お客様に満足して頂くとともに、株主・従業員・取引先等、すべてのステークホルダーとの良好な関係の構築による企業価値の向上を目指してまいります。

社外役員によるガバナンス
コンプライアンス推進体制
リスクマネジメント体制
内部通報制度

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ESGに関する取り組みの詳細については、ホームページ等を通じて、今後、随時　更新・公開してまいります。

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved

株式会社シー・エス・ランバー

【お問い合わせ先】

株式会社シー・エス・ランバー
執行役員　管理本部　部長　上原　隆
TEL 043-213-8810
FAX 043-213-8819
URL https://www.c-s-lumber.co.jp

＜ご案内＞

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、資料作成時点での弊社の判断であり、 その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なる ものとなる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断において行われる ようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製等を行わないようお願い申し上げます。

Copyrightⓒ C.S LUMBER CO.,INC. All Rights Reserved